

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第34号 平成22年10月 3日

やっとKUSA-1 c クラス優勝 MVPは梶が選出された

幹男の好投に打線が爆発！

	1	2	3	4	5	6	7	R
G	3	2	3	2	1			11
P	2	1	0	0	2			5



10/3 (日) 早朝、東京ドームに向き、KUSA-1 class-s決勝に挑んだ。相手は、2回目の対戦となるパワーズ。前回は投手戦の末、サヨナラで制しただけに、今日はすかっと相手投手を撃破して勝利をゲットしたいものである。今日の我がチームはサンデー幹男、その幹男の投球は、野手の乱れの間失点はあったものの、3回を被安打2、与四球1と非常に素晴らしい内容であった。さて、乗っている打線は今日も爆発！先頭の哲也が四球で出塁、その後2盗・3盗塁を決め、後続が倒れたが3番@深沢が左越に先制の2ベースを放つと、続く4番浅沼も右中間に2ベース、そして相手野手のエラーの間に3点目を挙げ、早くも主導権を握る展開でゲームを運んだ。続く2回にも3つの四死球と長短打で2点、翌3回にも、2つの四球と4本の長短打且つ哲也のRHまでも飛び出し3点、そしてそして、4回にも四球に長短打を交え2点、更には5回にはノーヒットで1点を挙げ、完全にゲームを手中にした。

そんな中で、目立った悪さ！

1. 捕球から送球への動作-----まずはボールを捕る事、そして送球動作に入る事。
2. 場面で自分が何をすべきか-----ベースカバーの遅れ、カットマンへの遅れなど、常に何をするかを考えておく事。
3. 内外連携-----非常に難しい内容であるが、やはり1番やってはいけないのが、ぼんわりボールでの返球、これはバウンドにより、野手の頭を越してしまうので、ノーバウンドで投げるよりは、野手の頭を目掛けて送球する事を心がけて欲しい。普段から意識しないと出来ない事だが、キャッチボールでもイメージは出来る。更には、どのカットに返球するかも瞬時に判断しなければならないので、難しい。

何れにせよ、どのプレーも基本的に忠実にスマートにこなせるように、普段からの意識付けをしっかり行おう！

さー、もうすぐ、区民大会、1発勝負なだけに、これらが出来ない場合はまさに命取りです・・・